

## 令和元年度第2回教育研究評議会議事要録

日 時	令和元年5月15日(水)13時30分～15時30分
場 所	第一会議室
出席者	石田学長, 藤井理事, 池田理事, 夏秋理事, 佐藤理事 塚本地域デザイン科学部長, 藤原評議員, 増田評議員 佐々木国際学部長, 磯谷評議員, 中村評議員 黒後教育学部長, 伊東評議員, 人見評議員 阿山工学部長, 入江評議員 齋藤農学部長, 山根評議員 川田地域創生科学研究科長 橋本基盤教育センター長
陪 席	溝口監事, 堀監事, 松金学長特別補佐

議事に先立ち, 平成31年度第1回教育研究評議会議事要録(案)を確認し, 原案のとおり承認した。

### [議 題]

#### 1. 教員人事について

#### 資料1

- (1) 学長から, 資料1-1に基づき, 学術院(地域デザイン科学部)助教の採用に関する人事調整会議における選考経過について説明があった。  
次に地域デザイン科学部長から, 資料1-1に基づき, 地域デザイン科学部人事委員会における業績審査について説明があり, 審議の結果, 令和元年6月1日から令和4年3月31日の任期で採用することを承認した。
- (2) 学長から, 資料1-2に基づき, 学術院(教育学部)助教の採用に関する人事調整会議における選考経過について説明があった。  
次に教育学部長から, 資料1-2に基づき, 教育学部教授会における業績審査について説明があり, 審議の結果, 令和元年10月1日から令和6年9月30日の任期で採用することを承認した。
- (3) 学長から, 資料1-3に基づき, 学術院(工学部)教授の昇任に関する人事調整会議における選考経過について説明があった。  
次に工学部長から, 資料1-3に基づき, 工学部人事教授会における業績審査について説明があり, 審議の結果, 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査の結果が可であることを条件とし, 結果伝達日の翌月1日付けで教授に昇任することを承認した。
- (4) 学長から, 資料1-4に基づき, 学術院(工学部)准教授の昇任に関する人事調整会議における選考経過について説明があった。  
次に工学部長から, 資料1-4に基づき, 工学部人事教授会における業績審査について説明があり, 審議の結果, 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査の結果が可であることを条件とし, 結果伝達日の翌月1日付けで准教授に昇任することを承認した。
- (5) 学長から, 資料1-5に基づき, 教育学研究科特任准教授の採用に関する人事調整会議における選考経過について説明があった。  
次に教育学部長から, 資料1-5に基づき, 教育学部教授会における業績審査について説明があり, 審議の結果, 令和元年9月1日から令和2年3月31日の任期で採用することを承認した。

- 2. 学生の懲戒（案）について** **資料 2**  
学長から、資料 2 に基づき、学生の懲戒処分案が提出された旨の報告があり、公示（案）、懲戒処分書（案）及び理由書について審議したい旨の説明があった。  
次に工学部長から、「懲戒処分案」に基づき内容の説明があり、審議の結果、懲戒処分を行うことを承認した。  
引き続き、学長から、公示（案）、懲戒処分書（案）及び理由書について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
- 3. 教学マネジメント確立のためのガイドライン（概要）（案）について** **資料 3**  
藤井理事から、資料 3 に基づき、教学マネジメント確立のためのガイドライン（概要）（案）について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
- 4. 雑草と里山の科学教育研究センターの将来像について** **資料 4**  
夏秋理事から、資料 4 に基づき、雑草と里山の科学教育研究センターの将来像について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

#### [報告事項]

- 1. 宇都宮大学創立 70 周年記念事業の骨子について** **資料 5**  
藤井理事から、資料 5 に基づき、宇都宮大学創立 70 周年記念事業の骨子について報告があった。  
なお、SDGs フォトコンテストについては、応募資格者を教職員対象として別途実施予定である旨報告があった。
- 2. 就職先企業に対する大学教育の評価に関するアンケート調査結果報告書について** **資料 6**  
池田理事から、資料 6 に基づき、就職先企業に対する大学教育の評価に関するアンケート調査結果報告書について報告があった。  
なお、部局毎の結果を確認する等、詳細に解析していく予定である旨報告があった。
- 3. 平成 30 年度卒業・修了者の進路状況について** **資料 7**  
池田理事から、資料 7 に基づき、平成 30 年度卒業・修了者の進路状況について報告があった。  
また、今後は、帰国した留学生の就職状況についても確認するなど会議資料も含め検討していく予定である旨報告があった。
- 4. 防衛装備庁の安全保障技術研究推進制度への申請について** **資料 8**  
夏秋理事から、資料 8 に基づき、防衛装備庁の安全保障技術研究推進制度への申請について報告があった。  
なお、本学教員が他大学又は企業等の分担者として当該研究に参加する場合の取扱い並びに申請期限など学内における手続きを明確にする必要があるのではないかとの意見があった。  
また、基本方針に記載のある審査委員会の構成員について、その他の学部長（1 名）と評議員（1 名）は、それぞれ異なる学部の教員であっても問題がない旨確認があった。
- 5. 宇都宮大学工学部・工学研究科及び地域創生科学研究科と上海交通大学物理・天文学院との間における部局間交流協定について** **資料 9**  
地域創生科学研究科長から、資料 9 に基づき、宇都宮大学工学部・工学研究科及び地域創生科学研究科と上海交通大学物理・天文学院との間における部局間交流協定を締結したことについて報告があった。

**6. 地域創生科学研究科に係る附帯事項の対応について**

**資料 10**

地域創生科学研究科長から、資料 10 に基づき、地域創生科学研究科に係る附帯事項の対応について報告があった。

**7. その他**

夏秋理事から、報告資料に基づき、アルク教育ソリューション EXP02019 英語教育セミナー及びマーク・ティルトン先生講演会の開催について情報提供があった。

以 上